



発行
 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
 NICハイム船堀(小松川市民ファーム内)
 TEL : 03-3654-7240 / FAX : 03-3654-7256
 E-mail : renraku@cleanaid.jp
 デザイン : 永野武宏
 2013年3月発行

この報告集は(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けて印刷しました。

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム 2012 報告集

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

川の自然環境を守り、自然豊かな荒川を子どもたちへ



特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム 2012報告集

Specified Nonprofit Corporation
 Arakawa River Clean-aid Forum
 2012 Annual Report

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

荒川クリーンエイド・フォーラムが

未来を担う子どもたちに、 豊かな自然を残すため、 目指すもの

荒川流域でのゴミ拾いを中心とした取り組みを通して、
市民の環境保全意識を高め、生物多様性の保全に貢献します。

■荒川クリーンエイド・フォーラムとは

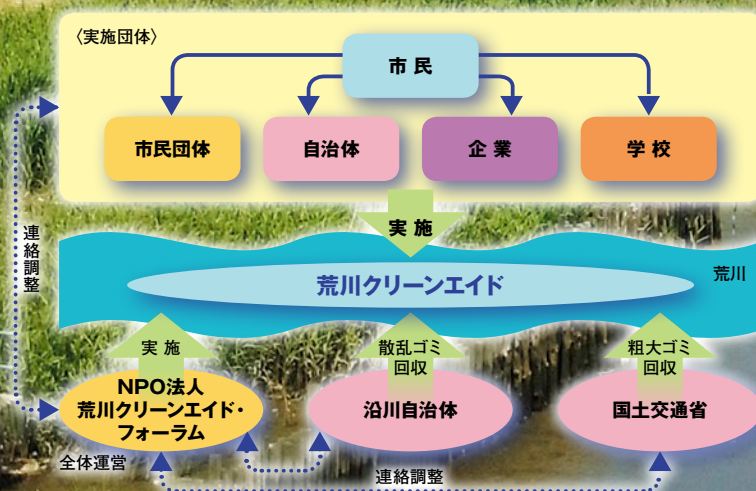
当法人は、1994年、当時の旧建設省荒川下流工事事務所の呼び掛けではじまった活動「荒川クリーンエイド」を市民で運営したことに端を発します。

本活動は、ゴミの内訳は何かを調査し、数えながらゴミを拾う活動として、流域の至るところで実施されてきました。やがて自然環境の回復と荒川に集い思い

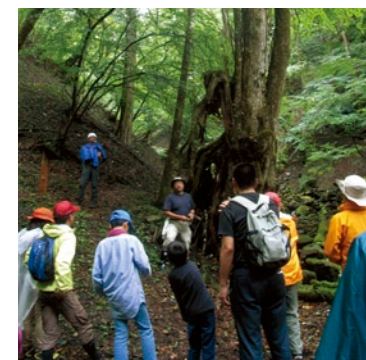
を寄せる人々の交流の輪を拡げ、市民、自治体、企業、学校等セクター間のパートナーシップを実現してきました。

1999年のNPO法人取得後は、活動基盤を整え、今では、「荒川クリーンエイド」を起点に生物多様性の保全や環境教育をはじめとする様々な活動分野(6つの活動)を広げています。

■セクター・パートナーシップ



■6つの活動



目次

トップメッセージ	2
2012年の新しい動き	3
荒川クリーンエイドの運営【荒川で ちょっといいこと ゴミ拾い】	4
13,000人以上の参加者とともに	5
源流から河口までゴミ拾いのネットワーク	6
荒川のゴミの実態	8
荒川ペットボトル大搜索!	13
主催・共催で盛り上がるクリーンエイド	16
荒川クリーンエイドの仲間たち	17
生物多様性の保全【荒川から広がる都市の自然】	30
東京らしい里川を目指す「里川創造プロジェクト」	31
市民・民間で「絶滅危惧種の復活プロジェクト」を推進	38
環境教育の推進【次世代育成のために 知って 学んで 楽しんで】	42
社員研修に荒川クリーンエイドを活用	43
チームビルディングやダイバーシティと関連	45
学校教育支援～河川ゴミから生物多様性まで～	48
水質調査の実施【市民モニタリングで、見守り続ける水環境】	50
水環境への関心を高める	51
流域・全国との連携【荒川から地球が見えてくる】	52
上流・中流とともに～源流エコツアー、流域再生シンポジウム～	53
全国・世界とともに～海ゴミ、川ゴミ、etc.～	54
広報・情報発信【より多くの関心と参加を】	56
活動の意味と楽しさを発信し、ゴミの無い社会を	57
TBS「風の言葉」ほか、テレビ・新聞ラジオでの報道	58
2012年 お世話になりました	60

荒川クリーンエイド・フォーラムの組織

トップメッセージ

荒川から地球・海洋環境を見据えた活動



特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム 代表理事

佐藤 正兵

2012年の荒川クリーンエイドは、実施会場133、参加者数13,443人、どちらも過去最高の記録を達成しました。これはひとえに荒川流域の各地でクリーンエイドを企画・準備・実施いただいた皆さまのご努力によるものと心より御礼申し上げます。

荒川クリーンエイドは一般的なゴミ拾いではなく、水際のゴミを拾うことによってヨシ原が元気になりそこに住む生き物も元気になって、水を浄化し生態系をよみがえらせる。荒川クリーンエイドの活動を通じて訴えてきたことが、次第に社会的にも認知され、参加者も徐々に、確実に増えてきたものと思います。

川を漂い漂着するゴミのほとんどがプラスチックで、その象徴としてのペットボトルは、今年度も散乱ゴミの数と量においてトップでした。同時に、プラスチックが自然界で細分化した破片は拾いきれないほど大量に水際に溜まっています。これらのプラスチックは自然界でさらに分解され、有害化学物質の運び屋として世界の海を漂い、ダイオキシンなどの化学物質が食物連鎖を通じて結局は人体にも取り込まれています。川でプラスチックを拾い上げることによって、ほんのわずかですが海洋に流れ出るのを止め、世界的な海洋汚染に対する警鐘を発していることになります。

全国各地の川で活動する団体と連携し、全国川クリーン大作戦実行委員会を立ち上げ、当フォーラムが事

務局となって「ふるさとの川クリーン大作戦」を呼びかけています。この活動が広まり、川から海に流出するプラスチックゴミを減らすキャンペーンが展開できることを期待しています。

荒川下流部において絶滅危惧種のヒメマイトトンボの保全が危ぶまれていましたが、観察体制を組んで生存を確認し、企業のプロジェクトの協力もいただき、次年以降の保存活動強化につなげることが出来ました。

本年も企業から多数の参加をいただきました。とりわけ生物多様性の保全事業においては、里川創造プロジェクト、絶滅危惧種の復活プロジェクトともに産業界の方々のご協力をいただきました。

江戸川区小松川自然地で展開する活動が、東京都新しい公共の場づくりのためのモデル事業に採択され、民間資金をどのように自然地の維持管理に適用できるかという、行政の関心事において私たちの活動が大きく貢献できたものと感じます。

次世代を担う人材育成に資する私たちの目指す環境教育は、小中学生を対象とする総合的な学習の時間の支援と新入社員を主とする社員研修支援を主軸として実施しました。

荒川クリーンエイドは1994年に始めてから今年2013年で20周年を迎えます。皆さまの変わらぬご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

2012年の新しい動き

荒川クリーンエイドはもちろん、様々な分野で新たな挑戦をはじめています。

環境教育の推進

■ 荒川クリーンエイドを活用しながら チームビルディング

チームごとに戦略を立てゲーム形式ゴミ拾いを競うプログラムを開発しました。これは、成果の検証を通してチームワークを学ぶような企業の社員研修として最適なものとなりました。プログラムの開発は、株式会社チームビルディングジャパン、株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング、NPO法人サービスグラントのプロボノの皆さんなど外部の方々にも多大なご協力をいただきながら進められました。荒川クリーンエイドの新たな挑戦の方向のひとつとして多くの企業の方々と共に活動できることを期待しています。



里川創造プロジェクト

■ 活動のシンボル、サインボードの設置

東京都の「新しい公共」モデル事業の一環として推進した2012年「小松川自然地・里川プロジェクト」。そのシンボルはなんといっても3月に竣工したサインボードです。活動のはじめに、いつもここで参加者の皆さんにプロジェクトのご紹介をします。

このサインボードの大きな特徴は、活動ちらしなどを入れられるポケット、そして、最新情報等を掲示できるスペースにあります。将来的には、活動を支援してくださる主体のメッセージを掲示できるよう関係者と協議を重ね、持続可能な仕組み創りを目指します。



イベントちらしを自由に取れるポケット

掲示スペース。活動を応援してくださる主体のメッセージ掲示を検討。

絶滅危惧種の復活プロジェクト

■ 一般募集を行っての保全活動を実現

絶滅危惧種というシビアな状況に配慮し、これまで一般への発表や大人数の関与を避けてきましたが、初めて一般募集を行っての保全活動を実現しました。これはSAVE JAPANプロジェクトの一環として実施され、荒川の希少種を守るために様々な方面から70名以上参加して、その力を結集することで、少人数では難しかった大規模なヨシ刈りとゴミ拾いを実現し新たな保全地の創出を試みました。この輪を確実に広げていって活動を継続していくことで、より良い生息環境を作っていきたいと思っています。



荒川クリーンエイドの運営

荒川で ちょっといいこと ゴミ拾い

荒川で、調査するゴミ拾いを継続して19年目の荒川クリーンエイド。

河川敷での1時間前後のゴミ拾いですが、

一つひとつゴミの重みを感じながら調査して拾っていくと、いろいろな気づきが生まれます。

「このゴミなんでココにあるんだろう？ このゴミはどこから来たの？」

こんなにヒドイ状態になる前にどうしたらいいんだろう？」など、参加者の想いはそれぞれ。

荒川のゴミは、一時期に比べるとだいぶ改善されてきています。

それでも毎年漂着し続けるゴミが絶えません。

荒川で、「ちょっといいことゴミ拾い」をして、達成感や清々しさを感じながら、ゴミについて考え、ゴミを減らすために行動する仲間が増えています。

2012年も大勢の皆さまと共にこの気持ち良さを味わいました。

13,000人以上の参加者とともに

参加人数13,443(過去最高)

1994年に約2,600名でスタートした荒川クリーンエイドの参加者数は、1999年に5,000人、2003年には10,000人を超え、その後1万人前後で推移していまし

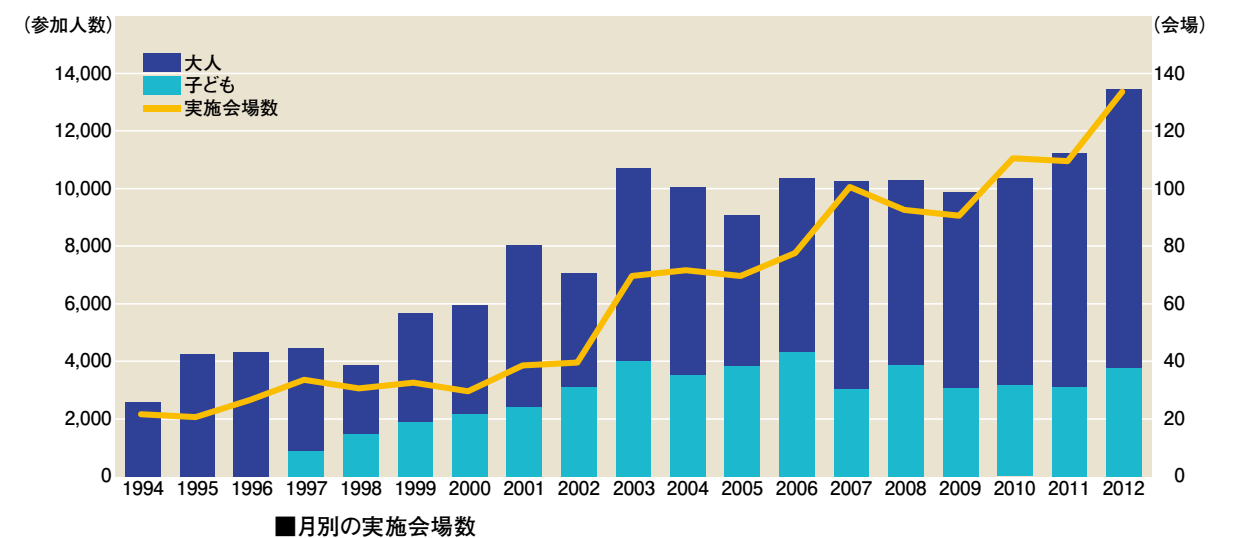
たが、2010年以降は3年連続して参加人数が増加しています。[2012年参加者数13,443人(内、子ども3,773人、大人9,670人)]

実施会場133(過去最高)、エントリー会場数146(過去最高)

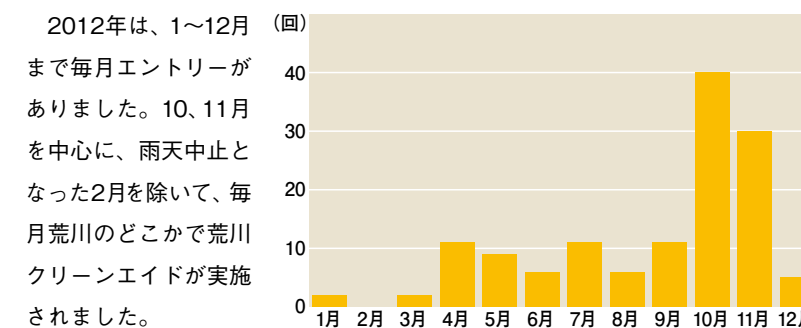
活動開始当初は秋に一斉活動日を設けて実施していましたが、2003年からは、春にも実施するようになり、近年では年間を通じていつでも実施できる体制になりました。

2012年は、146会場で実施が予定され、雨天などで中止となった13会場を除いた133会場で荒川クリーンエイドが実施されました。

■荒川クリーンエイド・フォーラム参加人数と実施会場数



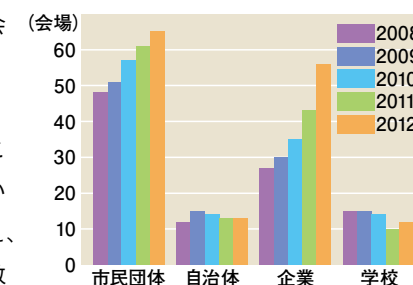
■月別の実施会場数



企業の参加が年々増加

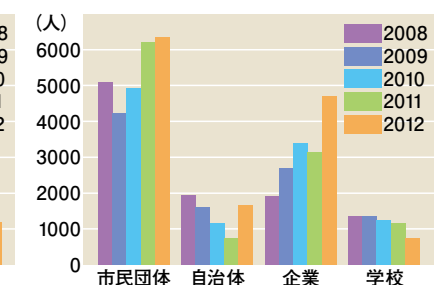
近年は市民団体、企業の実施会場の増加が顕著となっています。市民団体では、1団体が1年に複数回実施する団体が増えていることが影響しています。企業については、新たに参加する企業が増え、それにつれ実施会場数、参加人数ともに増加しています。

■タイプ別実施会場数



※1 主たる呼びかけ団体のタイプにより分けています

■タイプ別参加人数



※2 実施会場数については、雨天中止も含んだエントリー数

源流から河口までのネットワーク

荒川クリーンエイドは、市民団体、自治体、企業、学校など

さまざまな団体とのパートナーシップを実現しながら、荒川とその支流の各地で実施されています。

市民団体

①, ② (NPO) 秩父の環境を考える会、③ 秩父こどもエコクラブ(秩父教育懇話会)、④ (NPO) 熊谷の環境を考える連絡協議会、⑥, ⑦, ⑧ 鴻巣の環境を考える会、⑨ ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会、⑩ 市野川水系の会イン滑川町、⑪ (NPO) 荒川の自然を守る会、⑫, ⑬, ⑭ 大谷川クリーン大作戦市民実行委員会、⑰ 黒目川クリーンエイド実行委員会、⑱ (社) とだわらび青年会議所、⑲ (財) 埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、⑳, ㉑ 荒川夢クラブ、㉒, ㉓ (財) 埼玉県生態系保護協会 川口支部、㉔～㉖ 板橋水辺を楽しむ会、いたばし野鳥クラブ、㉗～㉙ 北区水辺の会、㉚ 大正大学 環境サークルsmile、㉛ 北区水辺クラブ、㉜, ㉝ ボイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団、㉞, ㉟ 尾久の原愛好会、㊱ 足立区本木ワンド・水辺の会、㊲ 東京城北ライオンズクラブ、㊳ あらかわエコフレンド、㊴ 隅田川市民交流実行委員会、



㊵ あらかわミズガキ隊、㊶, ㊷ 下平井水辺の楽校、三井ボランティアネットワーク事業団、㊸ 川の手ファンクラブ、㊹ 小松川平井連合町会、㊺ ふるさと清掃運動会実行委員会、㊻ 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京都第215団、㊼ 中土手に自然を戻す市民の会、㊽ (NPO) えどがわエコセンター、㊾ 葛西東渚・鳥類園友の会、都漁連内湾釣漁協議会、㊿～㋀ 西なぎさ発：東京里海エイド、㋁～㋃ 江東エコリーダーの会



学校

㋄ 東京都立桐ヶ丘高等学校、㋅ 北区立岩淵小学校、㋆ 足立学園中学校、㋇ 荒川区立大門小学校、㋈ 葛飾区立小松南小学校、㋉ 江戸川区立平井小学校、㋊ 江戸川区立平井東小学校、㋋ 江戸川区立小松川第二小学校、㋌～㋍ 江戸川区立大杉小学校

企業

㋎ 情報労連埼玉県協議会、㋏ NTT労組埼玉グループ連絡協議会、㋐, ㋑ NTT東日本埼玉グループ、㋒ (株) ファミリーマート、㋓, ㋔ (株) かんぽ生命保険、㋕ 日本工営(株)、㋖ (株) 藤商事、㋗ (株) ガリバーインターナショナル、㋘ 情報労連東京都協議会、㋙ NTT労組東京グループ連絡協議会、㋚ (株) シミズ・ビルライフケア株式会社、㋛ 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、㋜ SMCシビルテクノス(株)、㋝ (株) 日立ビルシステム、㋞ 三井住友海上プライマリー生命保険(株)、㋟ 足立成和信用金庫、㋠, ㋡ (一財) アールピーズスポーツ財団、㋢ 日本クラフトフーズ(株)、㋣ 日本メドトロニック(株)、㋤ リコーテクノシステムズ(株)、㋥, ㋦ (株) 資生堂、㋧ (一社) 東京損害保険代理業協会、㋨, ㋩ (株) エックスワン、㋪, ㋫, ㋬ ブルームバークL.P.、㋭ (株) チームビルディングジャパン、㋮ (一社) 建築ビジョン、㋯ (株) ユーニック、



㋰ 松山油脂(株)、㋱ 小松川信用金庫、㋲ ローソングループ、㋳ 三井ボランティアネットワーク事業団、㋴ 日本アイ・ビー・エム(株)、㋵, ㋶ 島村運輸倉庫(株)、㋷～㋸ 住友生命保険(相)、㋹ SMBC日興証券(株)、㋺ マルハニチログループ、㋻ ジョンソンコントロールズ(株)、㋼ 24時間テレビチャリティー委員会、㋽ キャプティグループ、㋾, ㋿ JFE商事労働組合、㊀, ㊁, ㊂ JAMBO International Center、㊃ (株) 三井住友フィナンシャルグループ、㊄ (株) ダイエー、㊅ 佐川急便(株)、㊆ りそな銀行 首都圏地域

自治体

㊇ 戸田市河川課、㊈ 川口市建設部建設管理課、㊉ 板橋グローブクラブ、㊊ 板橋区みどりと公園課、㊋ 北区、㊌, ㊍ 荒川区教育委員会社会体育課、㊎ 台東区教育委員会、㊏ 足立区社会福祉協議会総合ボランティアセンター、㊐ 足立区、足立区荒川ビジターセンター、㊑, ㊒ 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区、㊓ 墨田区、㊔ 江戸川区土木部計画課、㊕ 江東区土木部水辺と緑の課



主催・共催で盛り上がるクリーンエイド

NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムも、主催、共催として荒川クリーンエイドを実施しました。

■ 荒川クリーンエイド説明会・体験会

これからキャプテンとして会場運営をする方、荒川クリーンエイドに関心のある方を主対象に、説明会と体験会を開催しました。参加者は、実際に荒川クリーンエイドを体験して当日の流れを理解し、準備から当日・事後報告までの会場運営の仕方を学びました。

■日程：9月8日(土)
<体験会>
■時間：10:00～12:00
■会場：千住新橋周辺(足立区)
<説明会>
■時間：13:30～16:00
■会場：足立区生涯学習センター
■主催：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム



■ 絶滅危惧種復活プロジェクト

「SAVE JAPANプロジェクト」として、絶滅危惧種の復活をめざして、ヨシ刈りと、ゴミ拾いを多くの参加者とともに行いました。共催団体さんからの募集でも多くの参加者が集まり、多人数で達成する気持ち良さを感じることができました。

■日時：12月1日(土) 9:30～12:00
■会場：千住新橋周辺(足立区)
■主催：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム
■共催：株式会社損害保険ジャパン、公益社団法人日本環境教育フォーラム、認定NPO法人日本NPOセンター



■ 日本テレビ24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション2012」

夏のチャリティーイベントとして広く知られている番組のメディアと共催し、荒川クリーンエイドと自然環境教室を実施。東京や近県から多くの方々に参加いただき、荒川の環境を知っていただく良い機会となりました。

■日時：6月3日(日) 9:00～12:30
■会場：小松川自然地(江戸川区)
■主催：「24時間テレビ」チャリティー委員会(日本テレビはじめ民間放送31社)
NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム



■ ふるさと清掃運動会in荒川



■日時：10月14日(日) 13:00～16:00
■会場：小松川橋周辺(江戸川区)
■主催：ふるさと清掃運動会実行委員会
■共催：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

学生を中心とした大勢のスタッフの皆さんと共に事前にさまざまな準備を重ねて当日に臨みました。他団体さんとの共催のおかげで約千人が参加する活動を実施できることができました。

■ 下平井水辺の楽校共催クリーンエイド

荒川クリーンエイドの活動を体験したいと思われている方が気楽に参加できる会場として実施しています。荒川クリーンエイド・フォーラムのスタッフも大勢参加して、ゴミの解説なども丁寧に行い、午後は投網など水辺の自然に親しみました。

■日時：①4月8日(日) 10:00～14:30
②10月28日(日) 10:00～14:00
■会場：小松川自然地(江戸川区)
■主催：下平井水辺の楽校、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

■ 研修チックなゴミ拾いゲーム

チームで作戦を立て、チーム対抗でゴミ拾いをするといった、新しいゴミ拾いのかたちにチャレンジしました。社員研修でも活用できるプログラムの実践の機会となりました。

■日時：10月13日(土) 9:00～12:30
■会場：京成押上線上流墨田区)
■主催：株式会社チームビルディングジャパン
■共催：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

荒川クリーンエイドの仲間たち

荒川クリーンエイド2012は、市民団体、自治体、企業、学校などさまざまな団体のみなさんにより実施されました。各団体の概要や感想などを紹介します。

1,2 (NPO)秩父の環境を考える会

影森グラウンド(秩父市)／岩田 泰典

9時から10時10分まで実施。ペットボトル、飲料缶、スプレー缶などいったん回収袋からすべて出して数えました。晴天に恵まれ、良い汗がかけました。
①①3/4②52人④1個 ②①10/21②49(1)人③15(10/5/0)袋

3 秩父こどもエコクラブ(秩父教育懇話会)

長瀬元気プラザ付近(長瀬町)／新井 秀直



秩父は自然に恵まれていながら、自然に触れていないように感じている。自然の中で遊び、自然に親しみ、自然のありがたさを感じてほしいと願っている。そして、自然を大切にする心が育ってくれたらと願っている。そんなことから、1年に1回、1泊でカヌーと遊び、川の清掃する行事を行っている。本年は9年目となった。

4 (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会

熊谷市内河川数6会場(熊谷市)／栗原 堯



今年は参加団体が大きいところが不参加だった反面、新たに加わった企業、グループもあり参加人数としては約300人減となった。ゴミの量は着実に減少傾向にある。また、一部の収集エリアでは相変わらず不法投棄と思われるものが目立った。対策としては関係機関と連携して車乗り入れ規制等も必要なのではと思う。

①11/11②1314(230)人③可燃700kg、不燃595kg、粗大200kg
⑥47団体

5 情報労連埼玉県協議会、NTT労組埼玉グループ連絡協議会

荒川運動公園(熊谷市)／中沢 範夫



情報労連埼玉県協議会は埼玉県内の情報通信事業で働く人たちの労働組合です。わたしたちは毎年5月頃を『環境一斉行動』と位置付け、情報労連の仲間が日本各地でボランティア活動を実施しています。埼玉県協議会としては、荒川クリーンエイド・フォーラムさんにご協力いただき、2012年5月26日に熊谷市の荒川運動公園周辺の河川敷を清掃しました。多くの組合員とその家族が参加し、環境について学び・行動しました。

①5/26②105(4)人③63(36/23/4)袋⑤9個

6,7,8 鴻巣の環境を考える会

11/23 川島 秀男



鴻巣の環境を考える会は、荒川の水質調査や生きものの観察など環境学習を定期的の実施しております。市内の小中学生をはじめ一般市民、事業者、行政などと連携しております。荒川クリーンエイドに参加するのを楽しみにしております。残念ながら、今年は11月23日が雨天となり、参加者が非常に少なかった。また、市生涯学習フェスティバルと行事が重なり、会員の参加者も少なくなりました。来年も参加し、鴻巣の荒川にコウノトリが住む夢を実現したい。

⑥大芦橋下流(鴻巣市)雨天中止
⑦糠田橋下流(鴻巣市)②6人③12(10/2/0)袋④2(1/1)袋
⑧御成橋下流(鴻巣市)／小石沢正義 ②8人③10(6/2/2)袋④2(1/1)袋
⑥ホタルの会、鴻巣こうのとりを育む会

9 ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会

市野川吉見百穴前(東松山市)／野口 健吉



東松山市のロータリークラブを中心とし、地元自治会、商工会、青年会議所、NPO、建設業及び設計測量業協会、企業、市町等の16団体がメンバーとなっている協議会である。晴天に恵まれ、参加者も700人を超える大勢の方々に参加していただき、にぎやかに清掃活動が実施できた。そして、「川の国埼玉」にふさわしいイベントとなった。

①11/10②750(250)人③4t

10 市野川水系の会イン滑川町

市野川蛇行河川周辺(滑川町)／上野 廣



比企の川づくり協議会を親団体として、4年前に「市野川水系の会 in 滑川町」が発足しました。高橋周辺の河畔林の残る蛇行河川の保全を主な活動にしています。荒川クリーンエイドの活動もその一環です。これからは、東松山県土整備事務所や町と協議しながら、高橋上流の河川改修、遊歩道の整備が課題となります。今年は、荒川下流のゴミ拾いを経験し、ペットボトルの問題を肌で感じました。市野川のような上流では、ペットボトルはそれほど多くありませんが、「放置すると洪水のときに荒川下流に流れ着くのかな」と上流で頻繁にペットボトル拾いすることが大事だと思いました。

①11/24②15人③8(2/5/1)袋④2(1/1)袋⑤9個

市民団体	自治体
企業	学校
①実施日②参加人数(子ども人数)	
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)④小ゴミ袋数(びん/缶)	
⑤粗大ゴミ数⑥参加団体	

12,13,14 大谷川クリーン大作戦 市民実行委員会

大谷川(鶴ヶ島市)／鈴木 勝行



今年も例年と同様クリーンデーと同日に、藤金地区、五味ヶ谷、太田ヶ谷の市内3カ所の会場で実施。総勢62名の方が参加した。各会場では毎年実施してきていることで、全体に川の中のゴミ自体は減ってきてはいるが、藤金会場では新たに大量の不法投棄のゴミが見つかるなど、ゴミのない川になるにはまだまだ先ようだ。ゴミの撤去とともに川の中と水辺の植生の管理も実施した。早朝からクリーンデーの地域の清掃が



終わった後の作業になり、参加者は体力的には大変だったと思う。来年は市内の会場を増やして実施したい。

12 太田ヶ谷地区／内野 訓雄

①10/21②10人
③15(12/2/1) 袋⑤1個

13 藤金地区／宮 弘子

①10/21②12人
③32(25/5/2) 袋⑤2個

14 五味ヶ谷地区／滝島 静明

①10/21②40人
③18(8/8/2) 袋⑤2個

15,16 NTT東日本埼玉グループ

3会場で約230名のグループの社員・OB及びその家族等が参加し、実施しました。会場の広さも有りますが、一見きれいに感じますが、ゴミ拾いを始めてみると、空き缶、ペットボトルや紙くず等が散見されました。また、粗大ゴミも相変わらずあり、生活用品類が今回は多く、不法投棄が止まらない現状を痛感しました。NTT東日本埼玉グループでは今後、環境保全活動に積極的に取り組んで行きます。

15 入間川上戸運動公園(川越市)

①11/11②54(4)人③20(5/15/0) 袋⑤2個

16 秋ヶ瀬運動公園(さいたま市)

①11/11②111(7)人③42(23/19/0) 袋⑤6個

市民団体 自治体
企業 学校
①実施日②参加人数(子ども人数)
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)④小ゴミ袋数(びん/缶)
⑤粗大ゴミ数⑥参加団体



戸田市都市整備部河川課

斉藤 剛様

戸田市では、戸田市ボイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例が平成20年に施行され、市内のゴミを減らす取り組みの一環として荒川クリーンエイドに取り組んでいます。事前に、会場近隣の小中学校に市から依頼状をお渡しして子どもたちの参加を呼びかけました。当日は、近隣の中学校、町会、漕艇場を利用するボート部、ボーイスカウトのピーパー隊等総勢137名のご参加により実施したことは大変喜ばしいことであり、荒川がきれいになりました。市役所からも河川課、環境クリーン室、公園緑地課の職員合計8名が参加して一緒に活動をしました。準備から当日運営まで、埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部、荒川夢クラブなど市民団体の方々と連携して実施することができ感謝しています。

17 黒目川クリーンエイド実行委員会

黒目川(東久留米市)／菅谷 輝美



クリーンエイド活動に昨年から、美化・清掃活動している地元東久留米市内の少年野球連盟が加わり、更に、今年はバスケットのクラブチームも参加となり、黒目川「河童のクウ」クリーン作戦は550名を超える活動となり、世代の広がりとなっている。クリーンエイドの作業を終えた参加者には、実行委員メンバーによる「豚汁」のサービスと地元黒目川で獲れた「アユ」の背開きの試食もあり、少年野球の小学生達は地元の川が綺麗になった楽しいクリーンエイド・川の思い出になりました。

①10/21②566(389)人③102袋

⑥久留米総合高校・東久留米少年野球連盟・東久留米西高校

18 (社)とだわらび青年会議所

戸田橋上流(戸田市)／八木橋 宣嘉



私たち(社)とだわらび青年会議所は戸田・蕨市の街の活性化のために、20歳から40歳の若者で戸田ふるさと祭りを中心とした事業を行っております。スポーツGOMI拾いを実施した理由は、ふるさとを綺麗にふるさとを大事に思う「心」を考えていきたいと思ったからです。実施して感じたことは、目に見えるところは綺麗に見えますが、特に川沿いや植え込みにゴミがたくさんあったように感じました。このような事業を開催することによって、この輪が広がることを願います。

①4/15②135(35)人③198(130/24/44) 袋⑤23個

19 (財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ

戸田橋周辺(戸田市)／石本 誠



タバコの吸い殻、花火のカスが多いという事は、荒川の利用者が多いという喜ばしいことですが、マナーの悪さには驚かされてしまいます。ここ数年他の会場ではタバコの吸い殻は減少しているのに考えさせられています。ゴミを拾わなくてよい時代は来るのでしょうか？戸田会場は昨年より参加人数が2倍以上に増加し、また河川利用者の参加者も増加しました。

①11/11②137(86)人③54(33/6/15) 袋④11(2/9) 袋⑤6個

20 川口市建設部建設管理課

荒川運動公園(川口市)／小川 清



天候が良い中で実施できて良かったです。一見するとキレイでゴミがないような場所でしたが意外に、タバコの吸い殻などの小さいゴミが見つかりました。子どもたちが大人たちの捨てたゴミを拾っていることを、ゴミを捨てた大人たちが気づいてほしいと思いました。

①11/4②167(82)人③6(3/2/1) 袋④4(1/3) 袋⑤1個

21,22 荒川夢クラブ

荒川運動公園釣堀池(川口市)／林 美恵子



こじんまりながら、アットホームな会場進行となりました。参加予定だった親子が体調不良で参加できなくなりましたが、たまたま荒川に遊びに来ていた親子とその友達、40代の男性が急きょクリーンエイドに参加されました。ゴミを調査しながらペットボトルの多さにびっくりしたり、春の自然観察で春の花々の彩りを楽しんだり。オプションのお楽しみで野菜茶を味わいましたが、大人だけでなく子どもにも人気で「おかわり」の声も出ました。

21 ①4/8②9(2)人③7(2/3/2) 袋⑤5個

22 ①8/4②20(14)人③5(2/2/1) 袋⑤2個

23,24 (財)埼玉県生態系保護協会 川口支部

河原町原っぱ(川口市)／西尾研二



「河原町原っぱ」では毎回イベントのたびにゴミ拾いを行っています。その後の自然観察を楽しむに参加してくれる親子がいます。今回はバッタ取り大会でした。夢中で虫探しをする親子を見ていると、生きもののいる

自然地を残してあげたいと強く感じています。

23 ①4/28②5(1)人③6袋⑤3個

24 ①9/16②11(4)人③7袋⑤5個⑥かわぐちっ子荒川クラブ

25 (株)ファミリーマート

戸田橋緑地(板橋区)／船山 紀幸



ファミリーマートでは「ファミリーマートらしき推進活動」を通じて、お客様に「気軽にこころの豊かさ」を提供する会社を目指しております。荒川クリーンエイドに参加して、今年で6年目になりますが、毎年同じ会場で実施しております。小売業の弊社としては、やはり買物袋のゴミの多さに心が痛くなりましたが、このような清掃活動により、少しでもゴミを減らす事が社会に貢献していると実感することができると思います。

①10/20②23(1)人③8(1/3/4) 袋④2(1/1) 袋⑤2個

26,90 (株)かんぽ生命保険

笹目橋下流(板橋区)・木根川橋周辺(墨田区)／田村 政一



5月は墨田区の木根川橋周辺で実施。参加者からは、「前回(昨年12月)と同じ場所なのにゴミが多くて驚いた」「河川敷が目に見えて綺麗になって良かった」などの感想。

10月は笹目橋下流で実施。今回は、タイヤなどの粗大ゴミが多く見つかり、初めて参加した人はとても驚いていました。今後も、地域社会への貢献と社員の環境意識向上に取り組んでいきたいと思っています。

26 ①10/14②33(1)人③65(34/5/26) 袋④27(8/19) 袋⑤47個

90 ①5/13②9人③18(11/4/3) 袋⑤7個

27 日本工営(株)

戸田橋上流(板橋区)／塩見 真矢



7月7日(土)、東京都板橋区の荒川戸田橋緑地において、荒川クリーンエイドを実施しました。当日は、社員とその家族をあわせて25人が参加しました。参加者は、燃やすゴミ7袋、燃やさないゴミ2袋、ペットボトル3袋の計

12袋と傘の粗大ゴミを回収しました。清掃の後は、バーベキューを行い、手作りのローストビーフや鶏の丸焼きを食べ、大いに盛り上がりしました。

①7/7②25(8)人③12(7/2/3) 袋⑤1個

28 板橋グローブクラブ

戸田緑地草地広場(板橋区)／鈴木敏祥



板橋グローブクラブは、板橋区内の小中学生が集まって環境に関する活動をしているクラブです。自然観察や環境実験、リサイクル工作、エコクッキング等を通して環境について学んでいます。クリーンエイドではタバ

コの吸殻が目立ち、全体で一番多かったゴミでした。その他には草木の植え込みにゴミがあったりし、環境とマナーを考える良いきっかけになりました。

①11/10②20(14)人③3(1/1/1) 袋④1(0/1) 袋

29,30,31 板橋水辺を楽しむ会、 いたばし野鳥クラブ、板橋区みどり公園課

板橋生物生態園(板橋区)／梅村 松秀、栗林 菊夫



4月は、1週間前の火事で焼けてしまった自然地のゴミを拾いました。10月は、荒川下流河川事務所岩淵出張所より3名の参加がありましたので、本流の粗大ゴミを収集していただきました。またホームレス跡のゴミを運び

出しましたので、昨年の春より粗大ゴミが増えました。反対に夏の日照りで上流からの漂着ゴミは減ったように思います。中国留学生3名1組と、その他3~4名で1チームを作りゴミ拾いをしてとても良い交流となりました。

29 ①4/15②30人③21(10/8/3) 袋⑤17個

30 ①8/19②52(20)人③3(1/1/1) 袋

31 ①10/27②58(8)人③26(12/10/4) 袋⑤39個

33～41 北区水辺の会

北区・子どもの水辺(北区)／太田桐 正吾



参加者からは以下のような感想をいただきました。一見ただの草むらや、川べりに見えても、水位の変化により、流れつき、そこにとどまってしまうゴミの量が、大小問わず多く存在していることを実感することが出来たと思います。また、流れついて間もないものから、流れつき時がたつことで、土の中に埋もれてしまっているゴミが見受けられ、普段からの清掃活動の必要性について、改めて考えさせられました。ビニール類が多いように感じました。缶とかペットボトルなどはボーイ捨てされたもので、靴とか衣類が落ちているのは不思議に思った。電池がまとめて落ちていたのが気になりました。

33 ①5/19②53(3)人③17袋④4個⑤クリーンキーパー赤羽
34 ①6/16 雨天中止 35 ①7/21②42(20)人③7袋⑤1個
36 ①7/22②54(20)人③20袋⑥(株)エクシング
37 ①8/18②10人③14袋⑤2個 38 ①9/15②10人③8袋④2(0/2)袋
39 ①10/20②13人③25袋⑤7個
40 ①11/17②10人③18袋④2(2/0)袋 41 ①12/15②11人③21袋

42 大正大学 環境サークルsmile

新荒川大橋上流(北区)／佐々木 大和



大正大学環境サークルsmileは大正大学内で有志が集まり結成したサークルです。環境や自然を楽しみ、触れ合うことが目的です。清掃活動は簡単かつ手軽にできるので荒川以外の場所

でも実施していこうと考えています。

①7/1②9人③12袋⑤2個

43 北区立岩淵小学校

北区・子どもの水辺(北区)／西 由香



岩淵小学校は荒川のすぐ近くにあり、荒川をフィールドにした環境学習を進めてきました。荒川清掃はその一環で例年春・秋の2回行われており、全校児童で荒川の美化活動をしています。今回は初めてゴミの種類を数えながら拾いましたが、どの子も一生懸命に取り組んでいました。ゴミを拾うだけでも価値があり、更に川の環境を良くしていくための学習にも関連していて、とても有意義な活動だと思いました。

①10/11②86(79)人③14(5/5/4)袋④9(4/5)袋

44 北区水辺クラブ

北区・子どもの水辺(北区)／松下 正義

北区・子どもの水辺を主な活動場所として、北区水辺の会の妹分という格好で、水辺の自然地の維持を目的に調査観察に協力してまいりました。管理面にまで手を広げるには今の会員数ではとても無理ですが、水辺の自然を相手に、その良さを知っていただくために今後とも、微力ではありますが、水辺の楽校にも登録された「北区・子どもの水辺」を紹介していく所存です。毎月第2土曜日の午前10時～12時が定例活動日。

①10/13②4人③2(0/1/1)袋④2(1/1)袋

45 北区

荒川岩淵関緑地(北区)／中根 正一



当日は抜けるような晴天、まさにクリーンエイド日和でした。環境意識が高まり、クリーンエイド活動が定着する中で、ゴミの数は着実に減少している反面、注射器や傘、工事用の資材といった危険で、河川とはおおよそ縁の無い物まで捨てられていることに危機感と憤りを感じます。清掃活動と並行して河川を利用するもののモラルの向上をクリーンエイド活動を通して啓発していく必要があることを痛感しました。

①10/21②300(30)人③111(49/38/24)袋④37(27/10)袋⑤11個

46,47 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団

赤羽岩淵水門広場(北区)／渡辺 英敏、長坂 養一



ゴミを拾う人はすばらしい人だと言う人あり。私たちボーイスカウトは、もう一段高い目的でこのクリーンエイドに奉仕しております。それは、誰が捨てたかわからないゴミを拾うことを喜んでやっているものは少ないです。だからこのいやなことを体験してもらい、このいやなことをやらなくて済むよう、「ゴミを拾う人からゴミを捨てない人に」を目標としています。

46 ①6/24②60人③9(3/3/3)袋

47 ①9/23②18(11)人③3(1/1/1)袋④2(1/1)袋

48 (株)藤商事

扇大橋上流(足立区)／山下 潤



昨年は雨天の為中止になりましたが、今年は雨が降る前に実施できました。橋の下を中心にゴミ拾いしましたが朝の雨で足元が少し悪く、効率が悪かったのですが40数袋のゴミを集積できました。思った以上にゴミがあり、街はきれいにしていきたいです。

①12/1②52(4)人③35(22/7/6)袋④12(0/12)袋⑤1個

49,50 尾久の原愛好会

扇大橋下流(足立区)／金沢 寛



49 ①6/3②10人③8(4/2/2)袋

50 ①10/28 雨天中止

51,57 荒川区教育委員会社会体育課

扇大橋下流少年運動場(足立区)・
西新井橋下流野球場(足立区)／白石 政昭



一年を通しグラウンドを利用している、少年野球連盟、サッカー協会、軟式野球連盟の方々と一緒に、いつも使っているグラウンドのゴミ拾いを行っています。タバコの吸い殻の多さ

に参加者もびっくりしていました。

51 ①11/4②530(400)人③31(22/8/1)袋⑤2個

57 ①11/4②20人

52 (株)ガリバーインターナショナル

西新井橋上流(足立区)／丹羽 浄司



昨年に引き続き、新入社員研修の一環として活動を実施しました。水際には、相変わらずゴミがたくさん散在していて、とてもやりがいのある活動となりました。新入社員たちは、チームで役割を持ち活動に取り組みました。ゴミ拾いの後には、ゴミ問題解決に向けたワークショップを行い、チーム内で活発な意見交換をするとともに団結も強まったようでした。

①4/24②166人③170(92/43/35)袋⑤44個

53 情報労連東京都協議会、NTT労組東京グループ連絡協議会

西新井橋上流(足立区)／梅田 貴史



環境保護活動に対する一体感の醸成や社会アピールを目的として、例年に引き続き NTT労組東京グループ連絡協議会と共催し、情報労連の明日Earth活動(平和活動、社会貢献活動などを総称するキャッチフレーズ)を5月26日(土)「全国環境一斉労働行動」日にあわせて実施いたしました。漂着ゴミが多くあり、良い環境ではないのに、カニや小魚などが多く生息していることに関心を持ちました。

①5/26②247(16)人③204(105/50/49)袋⑤33個

54 (株)シミズ・ビルライフケア様会

西新井橋上流(足立区)／盛田 和雄



SBLCボランティアチーム「様会」は今回誰もが参加できる活動として荒川クリーンエイドでの清掃活動を提案し、社長を筆頭に若手社員、ご家族での参加含め約50名での参加となりました。当日は気温34℃の中、樹木、雑草を掻い潜り、こんなゴミもあるのかといったゴミも含めたくさん拾いました。今後いかに河川からゴミを減らせるかといった課題も有りますが、参加者全員が仕事では味わえない達成感に笑顔がにじみ「荒川が好きになりました」社長談。

①8/25②51(6)人③15(11/3/1)袋⑤1個

55 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)

西新井橋上流(足立区)／三浦 哲



日本ケンタッキー・フライド・チキンとして荒川クリーンエイド団体会員となり今年で3回目の実施となりました。今回参加者の3割は初めて参加される方々でした。河川敷のゴミ散乱状況の実態に驚くと共に 自然環境保護の重要性を改めて実感されていました。地域規模から見ると小さな活動ですが今後も同様のクリーン活動を継続していくつもりです。

①9/28②15(1)人③10(3/3/4)袋④2(1/1)袋

56 SMCシビルテクノス(株)

西新井橋上流(足立区)／初村 清一



我々単独で行うのは今回で2回目。多少は皆前回体験しているため当初の荒川クリーンエイドの趣旨はよく理解してもらっているようでした。今回我々の活動エリアには不法野宿者が2か所もおられ当初立ち入りが見たい雰囲気もありましたが、意を決して作業を行いました。こういう場所は若い人たちの多い団体さんではできないかと思われませんが、きちんとご挨拶してお話しすればきれいになるので感謝されます。社会のお役に立てることだと思えば何でもありません。

①10/27②10人③16(5/9/2)袋⑤1個

58 (株)日立ビルシステム

千住新橋上流(足立区)／高橋 円



昨年まで3年連続で雨天の為に中止でしたが、今年は天候に恵まれ、4年ぶりに開催できました。グループ会社の方も含めて112名が参加し、回収した散乱ゴミの量は205kg[70袋]と、重量では4年前の倍近くでした。当日

は川の水位が低く、水際に溜まったゴミを多く回収できたことが大きな要因です。短い時間ではありましたが、ゴミ拾いを通じて自然と触れあいながら環境を考える良い機会となりました。来年も参加します。

①10/27②112(12)人③58(20/23/15)袋④12(6/6)袋⑤14個

59 台東区教育委員会

千住新橋上流(足立区)／栗山 大



今回も、台東区少年軟式野球連盟及び少年サッカー連盟のご協力のもと、荒川クリーンエイドを実施することができました。クリーンエイドを通して、子どもたちは自然環境を大切にする思いをより一層強められた様子で、とても有意義な活動となりました。

①10/28②60(50)人③3(1/1/1)袋

62 足立区社会福祉協議会 総合ボランティアセンター

千住新橋周辺(足立区)／桑原 清美



足立区総合ボランティアセンターでは、ボランティアの一步を踏み出せるようなボランティアスクール(講座)を行っています。今回は環境ボランティアの紹介を兼ね、クリーンエイドを行いました。大人の背丈以上もあるヨシ原の中に入ると、多くのゴミが散乱しており、すぐに埋まって取り出せないゴミも多くありました。参加者からは「様々なゴミが落ちていて驚いた」「また参加したい」という感想が寄せられました。

①9/15②14人③14(9/2/3)袋④4(2/2)袋⑤1個

63 三井住友海上プライマリー生命保険(株)

千住新橋下流(足立区)／青地 理絵



10月27日(土)、荒川クリーンエイドの活動に参加させていただき、荒川河川敷にてゴミ拾いを実施しました。この活動は年に一度実施していますが、2009年に開始して今年で4回目となります。当日は、多くの役職員とその家族が参加し、約64袋のゴミを回収しました。中にはガラスの破片や大きな鉄くずなども含まれており、河川敷の美化と環境保全の大切さをあらためて認識しました。

①10/27②65(10)人③60(37/20/3)袋④4(2/2)袋⑤3個

65 荒川区立大門小学校

扇大橋周辺(足立区)／菊崎 裕子



「100年後の荒川を考えよう」これが、大門小4年生の総合的な学習の時間「荒川探検隊」のテーマです。

100年前の荒川から学ぶ中で、今の荒川をもっときれいにしたいとの気持ちが生まれ、クリーンエイドを行いました。子どもたちはゴミ拾い調査を心から楽しみました。

○泳ごうよ 鳥や魚と いっしょにね

○ここにはね 生き物いっぱい 暮らしてる

水質がよく、人々の集う荒川を願って、学習は続きます。

①11/13②52(49)人③18(7/3/8)袋④11(2/9)袋⑤8個

66 足立区本木ワンド・水辺の会

西新井橋上流(足立区)／三井 元子



「足立区本木・水辺の会」として、「本木ワンド」を担当地域として登録の上、現地清掃活動を実施しました。活動は①区占有境(国側)附近、②ワンド「水辺」へ繋がる中央の地域、③ひょうたん池の内部および周辺、④区占有境通路及

び周辺で行いました。活動終了後に今後の維持活動(草刈等)に関して、フリートーキングを行ないました。

①11/4②5人③65(20/35/10)袋④2袋⑤5個

67 足立成和信用金庫

千住新橋緑地(足立区)／齋藤 貴子



数年前と比較するとゴミの数も年々減少し、粗大ゴミも少なくなり、きれいになっていると感じた。タバコの吸い殻と花火が圧倒的に多く、マナーの呼びかけが必要ではないかと思う。

①9/8②228(9)人

③11(4/4/3)袋④6(1/5)袋

市民団体	自治体
企業	学校
①実施日②参加人数(子ども人数)	
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)④小ゴミ袋数(びん/缶)	
⑤粗大ゴミ数⑥参加団体	

68 足立区、足立区荒川ビジターセンター

千住新橋緑地わんど広場(足立区)／長島 章



回収した資源ゴミであるペットボトルは汚れがひどくリサイクルできないため、可燃ゴミとして処理してしまうのが残念である。荒天のため3年ぶりの開催になりましたが、今年は天気にも恵まれ、200人を超す参加者があり、大盛況に終わりました。

①11/4②217(117)人③74(55/7/12)袋④8(1/7)袋⑤2個

⑥東京城北ライオンズクラブ

69 あらかわエコフレンド

隅田川白鬚橋上流(荒川区)／押川 賢次郎



墨田川では荒川のような河川敷がなく、スーパー堤防のゴミを拾うか、橋の下の防止柵内に投げ捨てられたゴミを拾うしかありません。テラスにはヨシの植帯が造成されたところがありますが、この根元に来たゴミが散乱しています。この植帯は立ち入り禁止区域で、中のゴミは拾えません。今回は橋の下の空間に投げ込まれたゴミを拾いました。中身はほとんど近くのコンビニで買った食料とペットボトルでした。

①10/21②13(1)人③11(10/0/1)袋④2(1/1)袋⑤3個

70 隅田川市民交流実行委員会

隅田川吾妻橋～桜橋(台東区)／糸井 守



10月20日の隅田川は正に天空晴れの野外活動日和に恵まれました。浅草・吾妻橋から桜橋まで64名の参加者は、右岸・左岸側に分かれ隅田川テラス沿いにゴミ拾い。川面には遊覧船が行き交い、空にはカモメ、水辺にはコサギ、ハクセキレイ、水中にはケフサイソガニ等河川のダイナミズムを感じながら、最終地点の桜橋上のスカイツリーを背景に集合写真を撮り終了散会しました。結果はタバコの吸い殻が694個で約半数でした。

①10/20②64(3)人③86(30/28/28)袋⑤2個

⑥隅田川クリーンキャンペーン実行委員会

71,73 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区

堀切橋下流左岸首都高速6号線周辺(葛飾区)／西川 信行

四ツ木橋下流(葛飾区)／関口 徹



71堀切会場 当日は学校の登校日と重なってしまい、参加者がなかなか集まりませんでしたが、少ない参加者に関わらず、多くのゴミを回収することができ、荒川河川敷の美化に貢献することが出来ました。

73四ツ木橋会場 中川中学校の

グリーンの体操服が河川敷道路をやってくる。若い力が遅く嬉しい。この日、荒川マラソン大会があり、にぎやかにも倍増、喜びは4つ。①青木区長が学校においでになり、労いと激励を受けたこと。②マラソンランナーの中に猫ひろしを見つけたこと③みんなで力を合わせて河川敷を綺麗にしたこと④秋晴。清々しい空気を胸いっぱい吸えたこと。

71 ①10/13②8人③24(6/13/5)袋

73 ①10/13②174(148)人③42(13/20/9)袋⑤3個

72,104 (一財)アールビーズ スポーツ財団

堀切水辺公園(葛飾区)・船堀橋周辺(江戸川区)／柴田 光

「荒川30K 秋大会」の応援者、サバイベントの「キッズラン」に参加した子どもたちやそのご家族、ボランティアの方でゴミを拾いました。使い捨てられた生活用品を中心に様々なものが捨てられていました。昨年に比べてゴミの数が少なくなったように感じました。実際のマラソン大会と同時に開催することで、ランナーの方々に清掃活動について考えていただくきっかけにもなります。弊財団は事業内容の一つに「市民スポーツイベントにおける環境保護活動及び支援」を掲げております。引き続き清掃活動をしていきたいと考えております。

72 ①10/13②10(3)人③4(2/1/1)袋

104 ①1/21 雨天中止

74 あらかわミズガキ隊

四ツ木橋下流(葛飾区)／橋本 浩基

毎年、中川中学校さんが、学校ぐるみで参加してくれています。近年は学校行事としての参加となりました。生徒の感想も、最初のころは「ゴミが多くてびっくりした」というような、荒川の水辺のゴミの現状を初めて知った、そんな感想でしたが、最近は「ゴミ拾いが楽しかった」「荒川からゴミをなくしたい、またゴミ拾いをやりたい」等と、率先してクリーンエイドをやりたいという気持ちに変わってきました。荒川がきれいになることももちろんですが、生徒の意識が変わってきたことが、とても嬉しい変化です。

①4/21②230(199)人③166(51/68/47)袋⑤22個⑥葛飾区

75 日本クラフトフーズ(株)

新四ツ木橋下流(葛飾区)／眞下 幸恵



今年で3回目となる今回の活動には、約40名の社員が参加し、新四ツ木橋周辺の清掃活動と自生する外来種の除草を行いました。河川敷にはさまざまな種類のゴミが散乱しており、数えることでさらにその多さを実感した

一方で、自分たちが出している生活ゴミの環境への影響をあらためて考える良い機会となりました。参加者一人ひとりの環境保全への意識が高まった一日。この日だけではなく、継続して取り組んでいくことが大切だと感じました。

①10/3②37人③123(48/32/43)袋⑤22個

78,79 (株)資生堂

木根川橋周辺(葛飾区)／欧米営業部 前川 哲平

木根川橋下流(葛飾区)／山崎 功治



この度は、会社の創業140周年に当り「社会に恩返しを」ということで取組んでいる未来椿活動の一環として参加させていただきましたが、実際に多量のゴミを目の前にして、参加者それぞれが生活者として企業人として、そのありかたや姿勢を改めて考え直す意味ある活動になりました。

78 ①7/11②5人③13(11/1/1)袋

79 ①10/13②125人③217(98/51/68)袋⑤33個

80 (一社)東京損害保険代理業協会

平井大橋上流(葛飾区)／武舎 利幸



東京損害保険代理業協会と申します。10月13日(土)に、9回目のクリーンエイドを実施しました。昨年は荒天でしたが、今年は絶好のクリーンエイド日和で、天気に比例するかのように参加者も54名を数え、一昨年に次ぐ多くの会員家族に集まっていただけました。今年は、初めての参加者(特に、家族連れ)が多く、「社会貢献活動とリクリエーションを兼ねた行事」という思いを、あらためて実感できるクリーンエイドでもありました。

①10/13②54(7)人③47(14/19/14)袋

81,82 (株)エックスワン

四ツ木橋上流(墨田区)／松本 龍詞



私たちX-oneはエコが叫ばれる以前から創業して25周年を迎えました。人にやさしい、環境に優しい商品づくりを心掛けている会社です。今回8回目の活動になりますが、毎回ペットボトルや容器のゴミを見るたびに、メーカーとしての使命を感じています。商品容器をパウチ化したり簡素化して会員の方にお届けしていますが、更に「ゴミを減らすこと」を念頭に置いて活動しようと思っています。

⑧①5/19②57人③78(41/21/16)袋⑤32個 ⑧①11/17 雨天中止

83 墨田区

八広野球場―緑地競技場(墨田区)／佐藤 智昭



タバコの吸い殻が大量にあった。トンガグループに一個あったら草の奥の方とか取りやすかったと思います。

①10/27②100(61)人
③42(24/18/0)袋⑤9個

⑥アサヒグループホールディングス(株)

84,85,86,107 ブルームバークL.P.

京成押上線上流(墨田区)・小松川自然地(江戸川区)／今野 育子



ブルームバークの社会貢献プログラムは当社の企業文化の中核となっており、世界202ヶ所で慈善事業や非営利団体の支援をしています。日本では多岐にわたる社会貢献プログラムの一環として、2008年より荒川クリーンエイド・フォーラムとともに荒川清掃を年4回実施していますが、活動の度に参加者一人ひとりが環境について考え、学ぶ機会を得ています。今後も継続して活動を行い、自然環境保全に貢献していきたいと考えています。

⑧①4/18②14人③38(27/3/8)袋⑤6個

⑧①10/6②11人③21(13/4/4)袋⑤3個

⑧①11/9②15人③38(30/4/4)袋⑤26個

⑧①8/26②11(1)人③15(10/2/3)袋⑤3個

87 (株)チームビルディングジャパン

京成押上線上流(墨田区)／河村 甚



チームビルディングと河川数でのゴミ拾いを組み合わせたらどうなるかということでプログラムを実施しました。より環境に悪いゴミのランキングをチームで考え、複数チームで点数を競い合ってゴミ拾いをしました。各チームの戦略も様々で、取り組むだけでも楽しく感じました。また、自分たちで考える時間があったり、得点配分の理由をきくことで、どんなゴミが、環境にどんな悪影響を与えてしまうのかなど、より納得して理解することができました。

①10/13②17(2)人③19(11/3/5)袋⑤4個

88 (一社)建築ビジョン

京成押上線周辺(墨田区)／山田 義博



①10/27②16人
③33(20/6/7)袋

89 (株)ユーニック

京成押上線周辺(墨田区)／藤本 由佳



当日は、好天に恵まれ総勢21名で無事に清掃活動を実施することが出来ました。参加者も共通の目的に対してコミュニケーションを取り達成した充実感を味わえたみたいです。この活動は、地域貢献・環境美化に加え、社員育成にも大変効果があるので、今後も継続していきたいと思っています。

①11/25②21(4)人③33(26/4/3)袋④4(2/2)袋

91 松山油脂(株)

木根川橋周辺(墨田区)／杉崎 広信



当社は墨田区にある会社で、地域貢献活動の一環として荒川クリーンエイドに参加しています。昨年は悪天候のため中止となってしまいましたが、今年は参加できてよかったです。

従業員の多くの感想ですが、年々荒川のゴミが減っていると実感しています。このままきれいな荒川に戻ることを願っています。

①10/13②53(1)人③53(30/14/9)袋⑤2個

92 小松川信用金庫

平井大橋上流(江戸川区)／堀越 康



今回も前回と同じ場所を清掃しました。ゴミの種類は、ペットボトルや飲料缶、タバコのすいがらが特に多く、ゴミを持ち帰ることをしない方が多いと思いました。どうしたらゴミを減らせるのか。一人ひとりがちょっとした心づかいを持ってばと、荒川クリーンエイドに参加するたびに強く思います。今後も参加者を集い、一人でも多くの方に、ちょっとした心づかいの和を広げていけるよう積極的に参加していきたいと思います。

①6/2②125(5)人③54(24/15/15)袋⑤10個

93 ローソングループ

平井大橋上流(江戸川区)／樋口 彰吾



今回で18回目の活動となりました。当日は、加盟店やローソングループ各社の社員や家族など108人が活動に参加しました。90分間の活動で散乱ゴミ64袋と粗大ゴミ14点を回収しました。また、清掃活動と一緒に荒川に関するクイズも行い、参加者に楽しみながら学んでもらいました。荒川の河川数は一見きれいに見えますが、まだ捨てられているゴミが多くあり、清掃活動の継続が必要です。今後もローソンは、清掃ボランティア活動を実施していきます。

①11/25②108(27)人③64(31/21/12)袋⑤14個

95,96 下平井水辺の楽校、三井ボランティアネットワーク事業団

下平井水辺の楽校(江戸川区)／中嶋 美南子



平成7年、国土交通省の協力で「子どもが水辺で楽しく安全に自然観察をしたり遊んだりできる場所」として造られました。毎月第二日曜日に、近隣の親子などが参加して、干潟遊びや魚とり、Eポート乗りなどを楽しんでいます。はじめは毎回ゴミ拾いからでした。干潟にガラスの破片が多数あり、拾わないと危険でした。たくさんの方の努力でゴミはかなり減りました。上流から流れ着いた大きな柳に縄をつけてみんなで引っ張り上げたこともありました。そんなことも楽しい活動のひとつです。

⑨①4/8②39(9)人③37(23/7/7)袋⑤16個

⑨①10/28②58(13)人③77(50/19/8)袋⑤48個

97 川の手ファンクラブ

下平井水辺の楽校(江戸川区)／高山 亮



東日本大震災のボランティアバスツアー「東京と岩手をつなごう」で知り合った仲間などと実施。facebookを通じて日常の話題や趣味のこと、ボランティアに関することなどを発信したりコメントしたりという形で繋がっている仲です。4月にゴミを拾ったばかりという場所にも拘わらず、大量のゴミ、テレビやガスボンベなど、川を流れてきたとは思いがたいゴミもみられたことにやはり驚きました。身近な荒川で実際に自分の体を使って、ゴミを回収の作業をすることで、環境を大切にすること、ゴミの捨て方などを考えるきっかけになりました。

①7/8②7(1)人③14(9/2/3)袋⑤18個

98 江戸川区立平井小学校

下平井水辺の楽校(江戸川区)／齊藤 睦美



平井小学校では、「飛び出せ荒川探検隊」(総合)の学習で、6月・7月・9月・10月と4回荒川に出かけました。毎回橋本さん星野さんにサポートしていただき4年生46名は、荒川の魅力に引き込まれていきました。虫も大好きになりました。タヌキの足あとには、びっくりでした。最終回の荒川クリーンエイドの活動では、ぼく達、わたし達の手で豊かな自然いっぱいの荒川を守っていくんだとの決意を新たにしました。多くを学びました。

①10/15②56(46)人③13(8/4/1)袋⑤10個

99 江戸川区立平井東小学校

下平井水辺の楽校(江戸川区)／有田 英徳



荒川クリーンエイドは、きれいに助けるということだったので、頑張って拾いたいと思います。私たちの予想では、使い捨てライターが多いと思っていましたが、なんと発泡スチロールが137くらいありました。とてもびっくりしました。よく見てみると、トカゲやコオロギ、カニ、いろいろな生物がいました。その自然を守るために荒川をきれいにしたいです。

①10/22②70(60)人③15(9/5/1)袋⑤4個

100 小松川平井連合町会

木下川排水機場～ロックゲート(江戸川区)／谷川 貞夫

①11/11②531(240)人

102 ふるさと清掃運動会実行委員会

小松川橋周辺(江戸川区)／亀山 久雄



著名人からなる「富士山大好き!百人の会」が、故郷の山や川や海、街など身近なところから環境アクションをおこそう!と呼びかけた「ふるさと清掃運動会」は6年目を迎え、全国280カ

所2万3000人が参加しました。小松川橋周辺での清掃活動には実行委員や学生ボランティア企画集団NUTSの若者たちが事前の草刈りや下見など念入りな準備を行い、当日は、地元住民や少年野球の子どもたち、企業の社員・家族など1,000人が参加して大量のゴミを回収しました。

①10/14②1000(100)人③920(643/135/142)袋⑤176個

⑥東芝ソリューション(株)、ITスポーツリーグ、他

103 日本アイ・ピー・エム(株)

船堀橋周辺(江戸川区)／川嶋 輝彦



初めての参加者が多く、普段あまり目にする事のない荒川河川敷の大量のゴミに驚きを感じることも、[何とかしなければ]という使命感を感じながらの活動となりました。活動後

の達成感も非常に大きく、振り返りでは「もっとゴミ拾いをする時間が欲しかった」という意見が出るほどでした。また今回は、清掃活動に加え、ヨシ刈りやヨシズ編みを経験するプログラムを実施して、日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。

①1/14②21(1)人③22(18/3/1)袋⑤9個

105,106 島村運輸倉庫(株)

船堀橋周辺(江戸川区)／嶋村 文男



今年で実施団体として参加するようになり4年目となりました。いつも思うことは、沢山のゴミがまだまだ有るという事です。そして、それを出すのも、また人であるという事。一人

ひとりの地球を思う気持ちをもつ事が大切だという事だと思います。私たちの活動の中、生態系が戻ってくることは、とても嬉しく思います。このことを一緒に活動している子どもたちに伝え、またその子どもがいずれ大人になり、自分の子どもに伝え、未来に繋げて行く事で、100年いや200年前の澄み切った河を、自然を取り戻して欲しいと思います。最後にいつも参加していただいている皆様に感謝致します。

⑩①5/19②81(21)人③91(47/16/28)袋⑤30個

⑩①11/18②84(28)人③89(51/15/23)袋⑤7個

市民団体	自治体
企業	学校
①実施日②参加人数(子ども人数)	
③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)④小ゴミ袋数(びん/缶)	
⑤粗大ゴミ数⑥参加団体	

108 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京都第215団

船堀橋上流(江戸川区)／原田 真佐子



ゴミ拾いの範囲である水際がヨシでおおわれていて、水際に近づくことができませんでした。また、落ちているゴミも昨年に比べて少ないという印象でした。実際、集めた総ゴミ袋も昨年は40袋に対し、今年は10袋でした。

しかも粗大ゴミも昨年は家電がゴロゴロころがっていたのに、今年はナント0個です。しかし!昨年と比べても意味がありません。子どもたちの感想は、汚い!荒川はゴミが減らないと言っているのです。

①11/11②26(12)人③10(6/2/2)袋⑤3個

109 江戸川区立小松川第二小学校

船堀橋上流(江戸川区)／川田 善男



小松川第二小学校の4年生です。私たちは、総合的な学習「荒川と仲良しになろう」の活動の一環として、バッタ・キリギリス調べ、干潟の水生生物調べ、そして荒川クリーンエイドに取り組みしました。子どもの声を紹介します。

「思ったよりたくさんゴミがあつてびっくりしました。でも、私たちを守ってくれている大切な荒川なので、がんばってゴミを拾いました。また参加したいです。」体験を通して、意欲の高まりが感じられました。

①11/14②155(145)人③26(15/4/7)袋⑤4個

110~112 住友生命保険(相)

船堀橋周辺右岸(江戸川区)／岩口 進、濱本 信樹、村上 仁



住友生命では、「CSR経営方針」を踏まえ、職員による環境ボランティア活動を実施しております。地球環境保護に取り組むと

もに、職員のボランティアマインドの一層の醸成を図るため小松川自然地区における生物多様性の保全プロジェクトに参加いたしました。今年度は、新入職員への研修、職員及びその家族での活動等、年3回実施いたしました。今後も、継続実施していきたいと考えております。

⑩①4/12②111人③161(104/21/36)袋⑤42個

⑪①9/29②329(27)人③240(140/40/60)袋⑤25個

⑫①11/3②155(40)人③76(44/13/19)袋⑤18個

113 SMBC日興証券(株)

小松川自然地区(江戸川区)／佐野 真由美



SMBC日興証券では、環境保全・社会貢献活動強化期間「Green Week」を設け、CSRへの理解及び地域社会や参加者同士の交流を図っています。3回目の参加となる今回は、273名の社員が参加し、清掃活動と外来種であるセイタカアワダチソウの除草を行いました。参加者からは、人為的に捨てられたゴミが多かったという感想が多く聞かれ、ゴミの発生量を減らす意識を持つことが大切であるという気付きが生まれました。

①10/20②273(22)人③129(78/23/28)袋⑤11個

114 マルハニチログループ

小松川自然地区(江戸川区)／中谷 知子



マルハニチログループは、水産資源をコアに世界中に「おいしいあわせ」を届ける企業です。海から事業の糧を得ている私たちは、自然への恩返しと環境保全活動の一環として、グル

ープ従業員とその家族の参加により開催いたしました。参加者一同、あまりのゴミの多さに驚くとともに、金属片や自転車なども時間をかけて海に流れつく現実を考えさせられました。また、昆虫をテーマにした自然環境教室も行い、荒川の豊かな生態系を楽しむ学ぶことができました。

①9/22②45(11)人③19(13/3/3)袋⑤3個

115 ジョンソンコントロールズ(株)

小松川自然地区(江戸川区)／鷹尾 祥平



ジョンソンコントロールズではBlue Sky Involveプログラムとして、環境保護(資源の効率活用)、従業員のリーダー育成を目的に地域社会と環境保全に貢献するボランティア活動を支援し

ています。昨年までの経験からゴミを捨てないだけでなくゴミを出さないことの大切さを学びました。3年目である今回はこれまでの学びを生かして、再利用可能な食器を各自持ち寄って、活動後にゴミゼロパーベキューを実施しました。

①10/27②28(6)人③12(10/1/1)袋⑤8個

116 24時間テレビチャリティー委員会

都営新宿線周辺(江戸川区)／小山 啓



「24時間テレビ」は2012年、全国30カ所で11,000人以上の参加者と環境保護支援の活動を実施しました。関東エリアで行ったのが東京・荒川河川敷での清掃活動です。当日は、6歳~84歳

までの参加者252人で1,210kgのゴミ・粗大ゴミ77点を回収しました。「24時間テレビ」では2004年から環境保護支援を続けています。メディアが行動し、伝えていくことによって活動の輪が広がることを目指し、今後も全国各地で「24時間テレビ」の環境保護支援活動を実施していきます。

①6/3②252(36)人③184(63/55/66)袋⑤77個

118~121 江戸川区立大杉小学校

中土手五色池(江戸川区)／佐久間 俊幸



大杉小学校では、3・4年生が総合的な学習の時間で、環境教育の一環として、年に4回荒川中土手に探検に行っています。その中で、クリーンエイド活動を行い、中土手に落ちているゴミを拾いま

す。私たちが捨ててしまったゴミによって、そこに住む生き物がけがをしたり、命の危険にさらされる事があります。川や池の水も汚れてしまいます。子どもたちの活動によって、少しでもきれいな荒川を保っていればと考えています。

⑪①1/31②19(17)人③4(2/1/1)袋

⑪①5/1②54(48)人③3(2/1/1/0)袋⑤3個

⑫①7/5②120(112)人③3(1/1/1)袋

⑫①10/11②124(114)人③5(2/2/1)袋

122 中土手に自然を戻す市民の会

中土手五色池(江戸川区)／佐藤 正兵



中土手に自然を戻す市民の会は高水敷に掘った「五色池」を中心とするビオトープの管理を続けています。今年は荒川の護岸に水が乗る洪水が無かったので、例年に比べてゴミは少なく、中

土手の低水護岸上のゴミを拾いました。今回中川側で目立ったゴミはペットボトルや花火などがプラの袋に入ってまとめて見つかったことです。また、荒川側の護岸には昨年の洪水で打ち上げられたプラスチックの破片が集まっているところが数カ所見つけられました。

①12/9②21(3)人③36(23/5/8)袋⑤5個

123,124 JFE商事労働組合

葛西橋上流(江戸川区)／高橋 英男



当日は小雨が降っていて、首都高速の高架下を中心に清掃。高架下での活動の幅が狭かったが、スタート地点から200m先までゴミを拾った。季節柄、ロケット花火が非常に多かった。荒川の河川敷よりも、中川側の方が

ゴミが多く、一部、掃除を行った。荒川側は草が生い茂り、清掃が困難でした。

⑬①6/30②25(3)人③30(20/6/4)袋⑤8個

⑭①8/18②21(1)人③32(20/6/6)袋⑤2個

125 江戸川区土木部計画課

葛西橋上流(江戸川区)／相馬 良子



ゴミを拾っても、拾っても、その下にゴミが埋もれていました。長年の蓄積により匂いもあり、参加者からも驚きの声がありました。物を捨てないという当たり前の事が出来ていない現実を知りました。1人でも多く取り組みに参加し、ペットボトル等の量を見てもらったり様々な啓発が

できたらいいと思います。

①11/3②21人③38(24/5/9)袋⑤24個

101,126,127

JAMBO International Center

葛西橋上流(江戸川区)／ディビッド ハウエンスタイン



ジャンボインターナショナルは、東京を中心とした国際ボランティア団体です。いつもながら予想以上のゴミ量に驚きます。同じ場所を前回拾った筈にも拘わらず投棄されたゴミは大量にあります。ペットボトル、缶ジュース／缶ビールの投棄が圧倒的に多い。小中学校の授業の一部にゴミ拾いをする機会があれば提案していただきたいです。ゴミ拾いは大勢でやると成果が上がります。「荒川クリーンエイドの日」を設けて上流から下流まで一斉にやるゴミ拾いがあると良いです。

⑩小松川橋下流(江戸川区) ①4/10②9人③36(12/17/7) 袋⑤15個
⑫葛西橋下流(江戸川区) ⑦7/3②3人③21(6/4/11) 袋⑤6個
⑭葛西橋周辺(江戸川区) ①11/25②12人③50(25/7/18) 袋⑤10個

128

葛西橋下流(江戸川区)／末廣 孝信



これまでに、三井住友銀行、S MBC日興証券など、それぞれ企業単独では開催したことがありましたが、今回は三井住友フィナンシャルグループとして、グループ企業の社員約250名と一緒に清掃活動に取り組みました。初めて参加する人も多く、普段何気なく目していた河川敷にたくさんのゴミが散乱していた事に驚くと共に、今後、生活の中で各人がなるべくゴミを出さないよう気を配ってほしいとの声が多く寄せられました。

①11/4②260(20)人③236(109/52/75) 袋⑤37個

129

葛西海浜公園東なぎさ(江戸川区)／中嶋 美南子



NPO法人えどがわエコセンター自然共生社会づくり委員会では構成メンバーの葛西東渚鳥類園友の会が中心となり、東なぎさのクリーンエイドと自然調査、観察を毎年春に実施している。11月に行われる「大クリーン作戦」と合わせて年2回の清掃活動によって、ゴミも少なくなり、めずらしい野鳥も飛来する生物たちの楽園となっている。3万羽を超えるスズガモの飛来などもあり、ラムサール条約指定の湿地となるよう努力している。

①7/7②54(2)人③35(15/5/15) 袋⑤43個⑥葛西東渚・鳥類園友の会

130

都漁連内湾釣漁協議会、葛西東渚・鳥類園友の会

葛西海浜公園東なぎさ(江戸川区)／飯田 陳也



漂着ゴミがヨシ原を超えて内側の砂地に打ち上げられており、そこを中心にたくさんの散乱ゴミを拾った。特にペットボトルが多かった。底生生物の調査で、多種多様な生き物が確認され、東なぎさが岩で囲まれた湾内に砂地の干潟と泥地のヨシ原など変化に富んだ環境が整ったことにより、生物多様性が豊かになっていることを示している。今後もゴミ拾いを続けこの環境を守っていくことが求められる。

①11/13②100(1)人③82(44/16/22) 袋⑤9個⑥日本野鳥の会東京

131~139

葛西海浜公園 西なぎさ(江戸川区)／橋爪 慶介



3月から11月まで毎月活動しています。7月は、台風4号と梅雨時期の河川の増水による影響の名残で、たくさんの細かいゴミが漂着していました。熱心に細かい漂着ゴミまでをも収集していただく参加者が多く、終了時間を30分ほどオーバーしてしまうほどでした。運よく気温が意外と低く蒸し暑くなかった点も長い時間活動ができた理由です。お陰様で西なぎさはかなりキレイになりました。またコアジサシが身近に渚で捕食したり2、3日前に誕生した雛の様子も観察できました。一般市民の参加数が若干増えてきました。嬉しいことです。企業からも常連で参加いただいています。クリーンアップ中に野鳥観察会と水生生物の観察を実施しました。

⑬①3/17②33(6)人③14袋 ⑬②①4/21②31(1)人③23袋⑤1個
⑬③①5/19②54(9)人③26袋⑤4個 ⑬④①6/17②21(4)人③8袋⑤2個
⑬⑤①7/21②46(7)人③21袋⑤7個 ⑬⑥8/18雨天中止
⑬⑦①9/15②48(5)人③22袋⑤8個
⑬⑧①10/20②110(6)人③41袋⑤5個
⑬⑨①11/17②56(1)人③4袋⑤2個

140

旧中川東大島駅付近(江戸川区)／小野 佐久良



05年より3社合同にてクリーンを実施し、今年度は子ども16名を含む合計113名と多くの方にご参加いただきました。一見きれいな河川敷でしたが、探してみると物陰や草陰など、すぐには見つからない様なところにゴミは隠れていました。清掃終了後にはきれいになった河川敷を見ながらお弁当を食べ、皆さまに清掃の重要性和気持ち良さを同時に感じていただける1日となりました。

①10/27②113(16)人③13(8/4/1) 袋⑤4個
⑥(株)セディナ、丸紅(株)

141

江東区土木部水辺と緑の課



天候にも恵まれ、とても気持ちよくクリーンエイドを実施できました。ゴミは釣り人がその場で捨てていった物や、上流から流れ着いた物など多種多様でした。隣接する公園側のゴミは少なかったのですが、絶え間なく流れ続ける荒川沿いはゴミが溜まりやすく、ほとんど川沿いを中心とした活動になりました。今後も区民の皆様とともに、環境保全活動に力を入れていきたいです。

①10/27②26人③14(8/4/2) 袋④1(0/1) 袋⑤1個

142

荒川砂町水辺公園(江東区)／永田 晴子



荒川急便では、全従業員が自ら環境保全活動や環境啓発活動を積極的に実践することを目的に、さまざまな活動を実施しています。荒川クリーンエイドへの参加は、今回で3回目となり、社内での認知度が上がり53名で清掃活動を行うことができました。普段は目にしないゴミが散乱しており、社員一人ひとりが考えながらゴミ拾いをする良いきっかけとなりました。今後も、周辺地域の環境を守る活動を続けていきたいです。

①10/13②53人③42(10/22/10) 袋④22(8/14) 袋⑤5個

143

清砂大橋下流(江東区)／三浦 貞子



毎年恒例行事として5回目を迎え、参加者は年々増え続け今年は840人となりました。気持ち良い秋晴れの下皆が一つになり楽しく活動することができました。プラやポリなど自然界で分解されない物の多さに驚いたという感想も多く、限られた時間の中でも、あらためて環境を意識する貴重な体験となりました。こうした意識や行動で地元に貢献できる企業であり続けたいと考えます。

①11/10②841(43)人③106(39/52/15) 袋④41(11/30) 袋⑤40個

144~146

新砂干潟(江東区)／阿部 美和

寒い中、子どもたちがきちんと拾っていました。生きものに関心のある子どもたちだからこそかもしれません。

⑭④①5/19②18人③14(8/6/0) 袋⑤3個
⑭⑤①7/21②53(20)人③25袋
⑭⑥①12/2②20(5)人③33(13/15/5) 袋④7袋⑤9個

60,61

(NPO)荒川クリーンエイド・フォーラム

千住新橋周辺(足立区)／佐藤 正兵

⑥①9/8②27(2)人③21(13/3/5) 袋④8(2/6) 袋⑤10個
⑥②①12/1②74(3)人③102(54/16/32) 袋④32(22/10) 袋⑤22個

■以下は、雨天中止、または2013年1月以降に延期(①実施予定日)

11

(NPO)荒川の自然を守る会

三ツ又沼ビオトープ(上尾市)／菅間 宏子 ①10/7

32

東京都立桐ヶ丘高等学校

新荒川大橋右岸(北区)／沖山 栄一 ①11/6

64

足立学園中学校

堀切橋～千住新橋(足立区)／高橋 弘和 ①6/22

76

日本メトロニック(株)

木根川橋周辺左岸(葛飾区)／横田 三奈歌 ①6/9

77

リコーテクノシステムズ(株)

木根川橋周辺左岸(葛飾区)／大川 鉄雄 ①11/17

94

葛飾区立小松南小学校

中土手五色池(江戸川区)／矢尾 厚一郎 ①3/6

117

キャプティグループ

都営新宿線下流(江戸川区)／坂本 寿男 ①2/25



株式会社三井住友
フィナンシャルグループ
グループ CSR 室長

中村 研一様

三井住友フィナンシャルグループは、「SMFGクリーンアップデー」として11月4日に荒川・葛西橋より下流域で清掃活動に参加させて頂きました。

当日はすっきり晴れ上がった秋空の下、グループ各社の役職員とその家族も含め総勢250名を超えるメンバーが、約1.2Kmにわたって河川敷のゴミ収集を行いました。普段は接することのない他社メンバーとのチーム編成という初の試みで、最初は戸惑いもありましたが、次第に会話も増え笑顔が溢れる楽しい活動となりました。

最終的には1人当たり1袋相当のゴミを収集、それらの分析も行ったことで、参加者からは「やってみたら予想以上に面白かった」という声が多数上がっていました。荒川クリーンエイド・フォーラムの皆さんのおかげで、素晴らしい活動となったことに、厚く御礼申し上げます。

当社グループ一体として社会貢献活動により積極的に取り組むべく、来年も引き続き荒川クリーンアップを行いたいと考えています。

生物多様性の保全

荒川から広がる都市の自然 新しい公共を多様な主体と創造する

「里川の創造」と「絶滅危惧種の復活」。

私たちが本格始動させた二つの事業は2012年、大きな飛躍を遂げることができました。
二つの事業に共通する基本理念は、「既存の公ではない、新しい公共のモデルの創造」。
今、荒川下流では、市民の新しい公的河川管理が制度化されようとしています。

東京らしい里川を目指す「里川創造プロジェクト」

東京らしい里川の創造を目指し、里山にちなんだ「里川」と称して、
自然地の維持管理・利用を推進し、江戸川区、足立区の自然地で活動を展開しました。

小松川自然地・里川プロジェクト 【江戸川区】

江東区との区境に位置し、川沿い1.1kmに及ぶ小松川自然地。
かつてのコンクリート護岸から、2008年に見事に緑あふれる自然護岸に生まれ変わり、
様々な活動が行われるに至った貴重な自然地です。

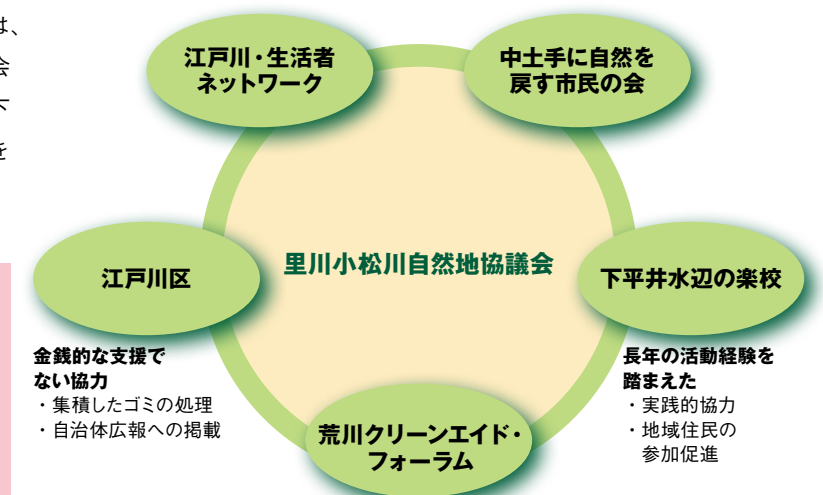


■地元5団体で里川小松川自然地協議会を結成

荒川クリーンエイド・フォーラムは、
江戸川区ほか地域の市民団体と協議会
を結成し、管理行政主体である荒川下
流河川事務所とアダプト制度の導入を
提案する事業を展開しました。

◆アダプト制度とは

アダプト制度とは、行政が、特定
の公共財（道路、公園、河川など）
について、市民や民間業者と定期
的に美化活動を行うよう契約する
制度。



■里川小松川自然地協議会の構成



環境教育の推進

次世代の育成のために
知って 学んで 楽しんで



教育は人や組織を創り、可能性を最大限に引き出すことではないでしょうか。
荒川クリーンエイド・フォーラムでは、子どもと新人社員に焦点を当て、
実体験から得られる学び、そこから発展する行動、
そして、仲間を意識するチームビルディングや多様性を重んじるダイバーシティにつながることをお手伝いしています。

社員研修に荒川クリーンエイドを活用

人事部門と社会貢献を所管するCSR部門が連携し、
企業の社員研修を企画立案し、自然環境と向かい合っ
ているNPOと協働する事例が増えてきています。
当初、新入社員研修においては、レクリエーション
による社員間の懇親を目的に依頼されるケースが多か

ったものですが、近年は、人事部門の目指すレベルに
牽引され、当該研修に求められる内容もレベルが高く
なっています。私たちもそれに応え、プログラムのブ
ラッシュアップを図ってきました。

■企業ニーズと荒川クリーンエイド・フォーラムの研修のマッチング

企業ニーズ

1. 目標や目的を設定し、
実現するための計画や狙いを
考えさせたい（人事の視点）
2. 仲間と連携し、
チームとしての力を高める
プログラムでありたい（人事の視点）
3. 自社の環境・CSR 等について
早期理解を図りたい
（環境・CSR の視点）

当会の研修で達成できること

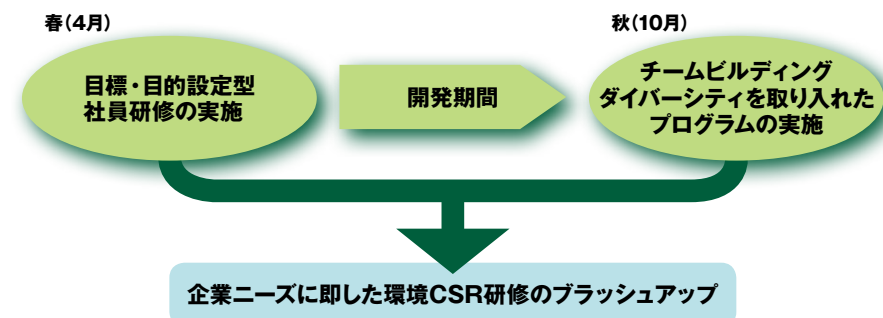
- 回収したゴミの数や袋数などを
定量的に他チームと競う
- 一定面積を綺麗にするという見せ方などを
定性的に他チームと競う
- 与えられた設問に対して、
チームとしての合意・妥協点などを見出す
- 結果、チームビルディングや
ダイバーシティの理解・体験に結びつく
- 自社のCSR等を理解する
- 結果、チームとしてよりよい成果に
結びつく

※3については従前よりマッチング

2012年は、こうした企業ニーズが目まぐるしく高ま
り変化する中で、春には、目標を設定し検証する新入
社員研修のプログラムを企画・実施し、秋には、協力
会社やプロボノの支援を得ながら、仲間と連携する視
点を盛り込んだチームビルディングやダイバーシティ
研修のモデル開発に取り組みました。



■1年間で社員研修の取り組みに関するフレームワーク



水質調査の実施

市民モニタリングで、見守り続ける水環境

荒川でも、中上流域から河口の海まで数万から数百万匹のアユが行き来をしているといわれています。

荒川の水はきれいでしょうか？

身近な水環境への関心を高めて、見守ることを目的に、

6月の「身近な水環境の全国一斉調査」、秋のクリーンエイド時の水質調査に取り組んでいます。

子どもたちでも簡易にできるバックテストを利用した

水質調査、において、透視度などの測定により、水の状態の調査を実施します。

ゴミを拾うだけでなく、河川敷、水際、そして川の水を含めた水環境を良くしていくことを目指し、行動しています。

水環境への関心を高める

■秋の水質調査COD(化学的酸素要求量)

- COD 0~4mg/ℓ
- COD 5~7mg/ℓ
- COD 8~ mg/ℓ



■荒川クリーンエイドとともに川の水を調べる

9月~12月にクリーンエイドを行った際に、上記マップ内19地点において水質調査を実施しました。この調査では、COD値は2000年頃からはほぼ横ばいの状況が続いています。また、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素を測定して判断する無機窒素値や、

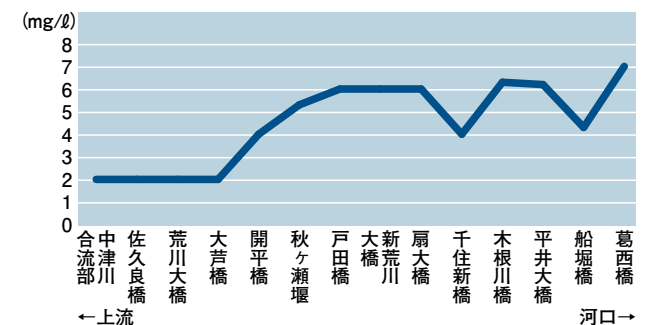
pH、臭い、透視度などから川の水質の調査を継続しています。荒川下流部の水は、上流から流れる水量が約3分の1で、3分の2は、下水処理場や街なかを通る比較的に汚い中小河川から流れ込む水です。支流も含め、ゴミだけでなく川の状態を見守り続けることが大切です。

■秩父から河口付近まで

(身近な水環境の全国一斉調査)

6月3日(日)を中心に全国の約5,500地点で実施された「身近な水環境の全国一斉調査」(全国水環境マップ実行委員会主催)に参加しました。荒川下流域の支流を含めた41地点で水質調査を実施して、そのデータをとりとまとめて提出しました。上中流域のデータと合わせると、中小河川からの合流のある北区・足立区(河口から16~20km)付近で汚れ具合の指標となるCOD値は高くなっていることがわかります。

■荒川本流のCOD値



※秋ヶ瀬堰より上流は、荒川流域ネットワークでの測定値より

子どもたちから大人に活動を広げよう

私たちの活動の特徴は、多くの子どもたちと一緒に取り組むことにあります。子ども時代を豊かに過ごす、その一環になればと、清掃とゴミ組成調査だけにとどまらず、楽しんで参加できることを心がけています。毎年お呼びする「投網名人の香織お姉さん」は、捕獲生物の説明はもちろん、COD、pH、NH4など、5つのバックテストを使用して水質を測る難しそうな調査も、「pHはそれぞれだけど、どれも水の汚れがひどいのか、普通なのか、きれいなのかを数値で表すものだよ」と分かりやすく解説。子どもたちは、透視度計を使って、自分の目でそれを確かめてもいます。今年はどれも基

準以上のいい結果でした。最後は現地で作る豚汁のお楽しみも。活動を始めて17年。

3年前からは、日本の植生を取り戻そうと、河川敷に繁茂するセイタカアワダチソウの抜き取りも行っています。まず子どもたちが知り、体験して大人に伝えていく—この効果に大に期待しています。



江戸川・生活者ネットワーク事務局長 稲宮 須美様

流域・全国との連携

荒川から、地球が見えてくる

荒川水源の森林では、豊かな保水機能で、約1千万人が暮らす流域全体に多くの恵みをもたらします。川の流れは、流域各地の小さな流れから支流、そして荒川を通じて海から世界へとつながっています。しかし、大小さまざまなゴミも川を通じて世界へと流れ出てしまうこととなっています。私たちの取り組みは多様な団体と連携しながら、荒川から日本全国、そして世界の環境を見つめることにつながっています。

上流・中流とともに ～源流エコツアー、流域再生シンポジウム～

上流で

■ 荒川源流エコツアー ～森林ボランティア&水源地の課題を学ぶ～

9月1日(土)～2日(日)に荒川源流エコツアーを実施しました。秩父市の山林では、間伐した後に放置されたままになっている丸太を薪として利用するために運び出すボランティア作業に参加しました。作業には秩父市環境部職員と森づくりボランティアの皆さんにお世話になり、力作業のために多くのボランティアが必要とされていることを実感しました。



夜には、お世話になった秩父市の職員、現地のNPO代表、荒川下流河川事務所の波多野所長さんにも参加いただき、意見交換会を開催しました。源流の森林は下流域に大きな恵みをもたらすもので、様々なかたちで森林資源を利活用し、イベントなどで連携しながら恩恵にあずかっている下流市民も関心を高めることの

重要性を確認しました。

2日目は原生の森をご案内いただき、森林浴で新鮮な空気をたっぷりと吸収してきました。

■ 第16回荒川流域再生シンポジウム ～流域全体で連携して川の再生を～ 中流で



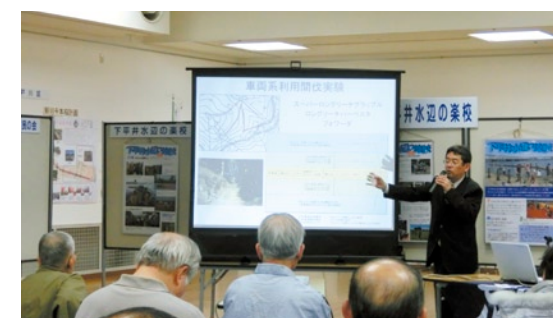
2月19日、埼玉県嵐山町 国立女性教育会館で開催されました。(1)2011年度のアユの遡上環境調査の結果報告と2012年度の調査予定、(2)新河岸水系におけるアユ増殖活動の近況報告、(3)里川づくり県民運動～

これまでの取組・今後の展開～、以上3つの報告を受けて「みずかけ“サ”論」がおこなわれ、荒川流域ネットワーク恵代表の司会で活発な議論が行われました。

漁協関係者やアユ釣の愛好家なども多く参加し、カワウの被害の問題に議論が集中。「天然アユを活かした地域おこし」については、流域再生プロジェクトが主催する地引網漁のような行事が流域の各地で実施できないか議論されました。また、朝霞の商店街で「新河岸川の魚」を店に展示してもらった活動も注目され、アユと川魚を題材とした遊びや行事・事業を起こしていくことが今後の課題として浮上してきました。

■ 「秩父の森作り」テーマに講演会 ～下流市民の理解を広める～

11月24日(土)、江戸川区で開催された江戸川区水辺の活動交流会に、秩父市環境立市推進課長 大野輝尚氏をお招きしてご講演いただきました。「荒川源流の森を守るため ～上下流の連携による秩父の森作り～」と題して、下流域でも



多くの人たちが森を守るためにできることを考えました。

江戸川区は、新川の整備に荒川源流の木材を使って木の橋や火の見櫓を作るなどして、上流との連携を進めています。

下流で

広報・情報発信

より多くの関心と参加を

より多くの方々に活動に参加していただき、荒川のゴミを減らし豊かな自然を取り戻したい。

そのために今年も様々なチャネルを通じて、沢山の情報を発信してきました。

さらにみなさまの活動を通じて集められたデータを分析して社会へゴミ問題の深刻さを知らせ、

ゴミの発生そのものを少なくしていきたい。そんな考えもあっていろいろな取り組みを行っています。

新聞やテレビといったマスメディアのご協力で、活動や荒川のゴミ状況をたくさんの人に知ってもらうことができました。

また、今年から取り組んだfacebookをはじめとしたソーシャルメディアにはいろいろな方から共感の声が寄せられています。



活動の意味と楽しさを発信しゴミの無い社会を

リアルで、インターネットで、様々なチャネルで活動の魅力とゴミデータを発信、

新たに開始したfacebookをはじめ、ニュースレターやEメールニュースなど様々な広報ツール、

主催イベントや他団体主催のイベントの場を利用し、活動への参加と荒川のゴミの現状等について情報発信しました。



JRや東京メトロの構内に掲示



荒川クリーンエイド 2012
ポスター、リーフレット



Facebook

参加者広報
荒川クリーンエイドや
生物多様性プロジェクト等への
参加を募る広報



ニュースレター

啓発・情報発信

活動の意義や魅力、
河川ゴミの現状やデータを
広く発信



プレスリリース



2/17荒川クリーンエイド・フォーラム報告連絡会「国際ゴミ調査の意義」について講演